

東京工業大学基金

平成29年度活動報告書



～科学技術の新たな可能性を掘り起こし、 社会との対話の中で新時代を切り拓く～

創立130周年を契機に戦略的な運営を支える財政基盤を強化すべく創設された東京工業大学基金は、これまで多くの皆様からの温かいご支援により順調に成長してまいりました。基金は、貴重な財源として本活動報告書にもありますように、教育研究活動充実のために有効に活用させていただいております。ご支援いただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。

本学は、世界トップ10に入るリサーチユニバーシティを目指して、教育・研究・ガバナンスの改革を進めております。全体を貫く方針として「科学技術の新たな可能性を掘り起こし、社会との対話の中で新時代を切り拓く」ことを掲げています。こうした将来構想が評価され、平成30年3月20日に文部科学大臣から指定国立大学法人の指定を受けました。「自由な発想と協調により、革新的創造を生み、社会に発信し続ける大学」としての役割を果たすべく、自律性が高く尖った人材の才能をさらに伸ばしていくと同時に、「Team東工大」として、こうした人材同士が共鳴し合うことでさらなる高みを目指して参ります。

指定国立大学としての新たなステージの開始とともに、本年4月1日より、新執行部が発足いたしました。高等教育を担うだけでなく、社会・産業界と連携する新しい大学像の確立に向け邁進し、未来社会をリードする役割を果たす所存です。そのためには同窓生をはじめ、在校生のご家族、教職員及び企業等、社会の皆様のご支援ご協力が不可欠です。今後とも、是非お力添えを賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

国立大学法人東京工業大学長

益 一 哉



【表紙】

表紙の写真は、東工大基金の活用により建設された新学生寮「緑が丘ハウス」の外観です。この学生寮の完成により、留学生及び日本人学生のための良好な住環境が整備され、より多くの留学生が世界各地から集い、本学が進める大学改革が今後ますます発展していくことが期待されます。

I. 平成29年度東工大基金の収支報告

●寄附金受入額

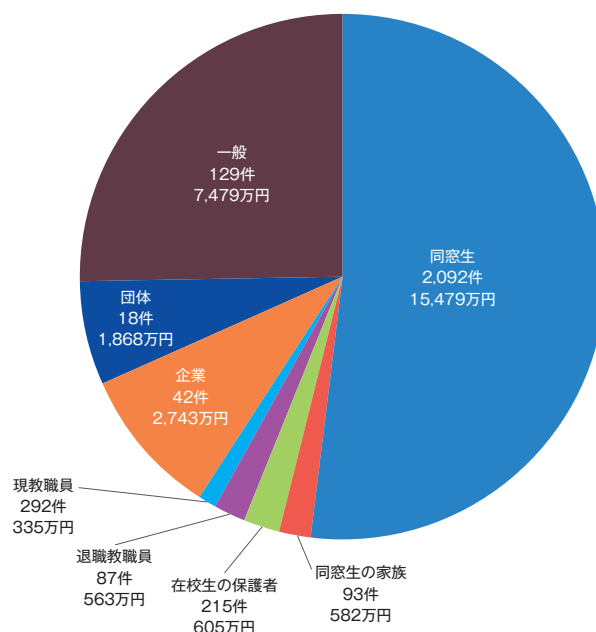
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成29年度の寄附金受入額は、みなさまからの温かいご支援により、約3億円となりました。

平成29年度寄附金受入額 **296,541,494円**

寄附者の内訳は右記のとおりです。

- ・寄附総額の過半数は、同窓生及び同窓生関係の団体によるものです。
- ・一方で、同窓生数は、約74,000人ですが、ご寄附をいただいている同窓生は約3%となっております。
- ・また、一般の方々からも、129件、約7,500万円ものご寄附をいただいていることは、特筆すべき点です。



●運用状況

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

東工大基金の資産のうち、約59億円分に関して運用を行い、約5,170万円の運用益がありました。

平成29年度運用益 **51,696,474円**

●支援額

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成29年度の支援額は、約8.1億円となりました。

平成29年度支援額 **809,543,998円**

支援額の内訳は右記のとおりです。

(単位：万円)

支援事業		支援額	小 計
教 育	①奨学金	1,674	4,574 (28%)
	②課外活動支援	899	
	③学生起業教育支援	294	
	④その他教育支援	1,707	
研 究	⑤「東工大の星」支援	4,000	6,385 (40%)
	⑥「研究の種発掘」支援	1,600	
	⑦その他研究支援	785	
社会連携	⑧産学連携プログラム	1,182	3,093 (19%)
	⑨理科教育振興支援	811	
	⑩本学主催イベント支援	471	
	⑪その他社会連携支援	629	
国際交流	⑫海外派遣支援	588	2,039 (13%)
	⑬短期留学生受入支援	656	
	⑭その他国際交流支援	795	
小 計		16,091	(100%)
そ の 他	⑮日本人・留学生混在型寮整備	41,349	64,863
	⑯百年記念館リノベーション	23,514	
合 計		80,954	

●基金の資産残高

東工大基金の資産残高は、平成30年3月末現在で約65億円となりました。

平成29年度期末資産残高 **6,517,915,965円**

Ⅱ. 平成29年度東工大基金の活用報告

東京工業大学は、2030年までに「世界のトップ10に入るリサーチユニバーシティ」を目指して「教育」「研究」「社会連携」「国際交流」の4つのテーマを柱として活動しており、東工大基金の活用もこの4つを柱としております。

平成29年度における主な東工大基金の活用状況を紹介します。

教 育

●学生への奨学金の充実

基金を活用した本学独自の給付型奨学金制度です。本年度は、22名の学生に対し、奨学金を支給しました。

奨学金の名称	対 象	給付額	人数
手島精一記念奨学金	学士課程2年次から3年間	5万円／月	9名
青木朗記念奨学金	修士課程1年次から2年間	5万円／月	6名
草間秀俊記念奨学金	博士後期課程1年次から3年間	6万円／月	5名
Hino Motors Scholarship	外国人留学生修士課程 (国際大学院コース)	12万円／月 入学科・授業料	2名



東工大基金奨学金授与式

☆基金から支援を受けた「手島精一記念奨学金奨学生」の声

東工大基金の奨学生に採用して頂き誠にありがたく光栄に思っています。熊本地震で実家が被災し、金銭的にも心配していましたが、基金の支援によって継続して十分な研究が続けられ、大変感謝しております。奨学金のおかげで勉学に集中する事ができ、その結果、設計製図課題では賞をいただきました。また、研究室所属の際には希望の研究室に入る事が出来ました。現在は、主に鉄筋コンクリート造の建物の制振に効果的なダンパーについての研究をしています。RC 造壁部材とダンパーとの接合部ディティールの検討や接合部の要素実験、実験で把握できない部分の力学的挙動を見るために有限要素解析、そしてダンパーの性能評価のために単体実験を行い、これらから問題点を見つけ検討を重ねることを今後の研究でやっていこうと考えている次第です。これからも私を支えて下さった皆様への感謝の思いを忘れずに精進していききたいと思います。ありがとうございました。



平成28年度奨学生
木下 雄貴さん(工学部建築学科4年)

●学生の課外活動支援

優秀な成績(国公立大学主催の競技会で3位以内など)を収めた16サークルに対し、援助金を支援しました。そのほか、サークルOB等から、サークルを指定したご寄附がありました。(18サークル)

●学生への起業教育支援

学内のアントレプレナー(起業家)教育等に基づく、学生のビジネスプランをスタートアップにまで高めるための支援制度です。本制度により学生にアントレプレナーシップを涵養し、教育の観点から、起業を通して自身のアイデアを世界に発信する意欲を後押しします。本年度は、審査の結果、5件が採択されました。

研 究

●若手研究者への大型支援「東工大の星」

「東工大の星」支援【STAR】とは、将来、国家プロジェクトのテーマとなりうる研究を推進している若手研究者や、基礎的・基盤的領域で顕著な業績をあげている若手研究者へ大型研究費の支援(1件あたり2,000万円)を行うものです。次世代を担う、本学の輝く「星」を支援します。第5回目の今回は、2名の「星」が選考されました。

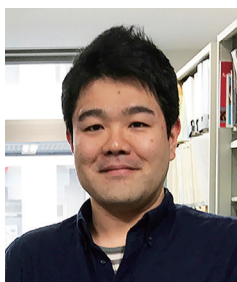


「東工大の星」授与式懇談会

☆基金から支援を受けた「東工大の星」採択者の声

私は、「オートファジー」という生命現象の研究をしています。本学の大隅良典栄誉教授がノーベル賞を受賞されたことをご存じの方も多いかもしれませんが、オートファジーとは、私たちの体を構成する「細胞」1つ1つの中に備わっている分解システムです。細胞の中の様々な成分を分解することで、細胞の健康、ひいては私たちの健康維持に重要な役割を果たしていることが明らかとなり

つつあります。私は、出芽酵母というシンプルな生物を用いて、オートファジーが起こる仕組み（分子メカニズム）の研究をしています。本基金からのご支援を賜り、これまでに得てきた成果を大きく発展させるべく、研究を進めさせていただいており、近くその成果を発表できる段階に至っております。私たちの研究は、オートファジーの研究の中でも基礎の中の基礎のような研究ですが、オートファジーが関連する疾患治療の手掛かりを生み出す可能性もある重要な研究です。しかしながら、基礎研究は大きな研究費の獲得が難しく、本基金からのご支援は大変ありがたく存じます。ご支援いただきました方々のお気持ちにお応えしたいと、日々熱意をもって研究に取り組んでおります。引き続き、基礎研究に対するご理解と、温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



平成27年度「東工大の星」採択者
中戸川 仁 准教授（生命理工学院）

●“イノベーションを生み出す種”への研究支援 （「研究の種発掘」支援）

「研究の種発掘」支援とは、従来にない画期的なアイデア等を含む、きわめて斬新な着想による研究を支援するものです。科学研究費補助金の「挑戦的萌芽研究」等の外部資金に出す前段階にある基礎的・基盤的領域の研究で、いまだ誰も着手していない類の「研究の種」の発掘を目指します。第6回目の今回は31件の応募があり、14件が選考されました。

●末松賞（研究支援）

末松賞とは、「研究の種発掘」支援応募者のうち、選考審査において抜群の評価を得た応募者に対し、末松基金から200万円を上限とする支援を行うものです。

第3回目の今回は2名が選考されました。



末松賞授賞式

社会連携

●産学連携プログラム

産業界又は国際機関と学内関係組織との有機的な連携を支援するとともに、これらを積極的に促進しています。本年度も次のプログラムに支援を行いました。

◇日本人腸内環境の全容解明とその産業応用プラットフォーム
日本人腸内環境の全容解明を一つのテーマに掲げ、日本人腸内微生物データベース構築による「日本人固有の腸内環境及び腸内代謝系の発見」と「疾病マーカーの発見」を目指したプロジェクト活動を推進します。

◇日・タイ人材育成ネットワーク

日・タイ間での人材育成機会の増進及び更なるタイ国研究機関・大学との有効かつ効果的なネットワーク構築・人材交流等を目指します。

◇グローバルバイオエンジニア育成教育プログラム

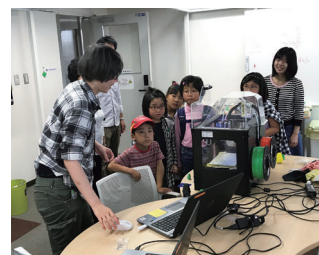
バイオコンテストを通じ日本の将来を担うグローバル・バイオエンジニア育成のための教育プログラムを展開します。

●小中高生に対する理科教育振興支援

日本の将来を担う小・中・高校生を対象とした知的創造性を育む活動を支援するものです。本年度は、教員14件、学生4件、合計18件が採択されました。18件のプロジェクトの参加者は延べ3,300名にも及びました。



科学教室「海の生物の行動観察」（教員主催）



「ものづくりを楽しもう」（学生主催）

●本学主催イベント支援

本学主催の以下のイベントに支援を行いました。

スパコン2017、すずかけ祭、工大祭、ホームカミングディ、五月レガッタ



すずかけ祭2017



ホームカミングディ 2017

Ⅱ. 平成29年度東工大基金の活用報告

国際交流

●海外派遣支援

グローバル人材育成のため、様々な海外留学プログラムを提供するとともに、留学する学生に対し学資金を支給しています。本年度は、75名に学資金を支給しました。

海外留学プログラム等の名称	支援人数
グローバル人材海外派遣プログラム	29名
国際教育プログラム引率型派遣	14名
グローバル人材のためのサイエンスコミュニケーション海外インターンシップ	6名
東工大・アジア理工系学生派遣交流プログラム (AYSEAS)	4名
TAIST-Tokyo Tech Student Exchange Program	4名
ASPIRE League Student Workshop	4名
ASPIRE League UG Research Academy	3名
海外大学との授業料等不徴収協定に基づく派遣交換留学生支援	3名
協定校等サマー・ウィンタープログラム派遣	3名
大学の世界展開力強化事業	2名
IDEA League Summer School	2名
AEARU Student Summer Camp	1名



東工大・アジア理工系学生派遣交流プログラム (AYSEAS) でのグループディスカッション

●留学生受入支援

本学の国際化を目指すため、様々な留学生受入プログラムを用意し、受入留学生に対し、学資金を支給しています。本年度は、41名に学資金を支給しました。

留学生受入プログラム等の名称	支援人数
Tokyo Tech Summer Program	23名
Tokyo Tech Winter Program	14名
ETHとの交流協定に基づく受入支援	2名
シュツツガルト大学との交流協定に基づく受入支援	1名
YSEP (Young Scientist Exchange Program)	1名



ウィンタープログラムにて修了証書を手にする参加学生

●日本人・留学生混在型寮整備

平成29年9月に、大岡山キャンパス緑が丘地区内に「緑が丘ハウス」(地上4階建て定員63名)がオープンしました。本事業は、キャンパス国際化促進のための基金を活用した集中投資事業の一つであり、平成29年度は3か年計画の最終年度でした。寮の中で異文化コミュニケーションを日常的に行うことで、日本人学生には国際感覚を育むことを、そして留学生には日々の生活で日本文化を知って日本人学生と交流することが期待されます。



オープンした「緑が丘ハウス」の外観



共有スペースを広く確保し、畳コーナーを設置

平成29年度における主な募金活動を紹介します。

●修学支援基金への募金活動の推進

所得税の税額控除の対象となる「修学支援基金」への募金活動を推進しました。修学支援基金は、経済的な理由により修学に困難がある学生を支援します。平成29年度の寄附金額は、208件、9,660,000円となりました。

●大隅良典記念基金への募金活動の推進

日本の将来を支える優秀な人材の育成や長期的な視点が必要な基礎研究分野の裾野の拡大を目的とした「大隅良典記念基金」への募金活動を推進しました。「大隅良典記念基金」は、平成28年大隅良典栄誉教授がノーベル生理学・医学賞を受賞したことを機に、大隅栄誉教授からの多額の寄附金を原資として設立したものです。平成29年度の寄附金額は、398件、96,770,651円となりました。なお、大隅良典記念基金による支援事業のうち学生への修学支援については、平成29年度に、高等学校在籍の予約奨学金制度を設立し、平成30年度入学を目指す全国(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県を除く)の高校生を対象として募集を行い、最終的に5名の奨学生を採用しました。また、若手研究者への研究支援についても、平成30年度に支援開始予定です。

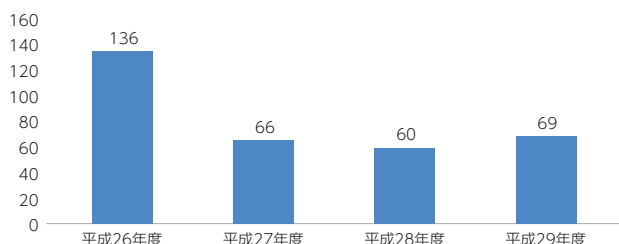


© Nobel Media AB 2016 Photo: Alexander Mahmoud

●東工大サポーターズ会員制度の推進

平成26年6月創設の東工大サポーターズ会員制度とは、本学が実施する活動を安定的にご支援いただくため、毎年一定額(12,000円以上)を継続的にご寄附いただく制度です。蔵前工業会の支部総会等においても、積極的にご案内させていただいた結果、お蔭様で、平成29年度は新たに個人69名の方々にご加入いただき、合計で個人会員331名、企業会員2社となりました。平成29年度の寄附金額は、15,164,000円となりました。引き続き皆様のご入会をお待ちしております。

サポーターズ会員 加入者数の推移



●東京工業大学古本募金の実施

東京工業大学古本募金は、読み終えた本・DVD等をご提供いただき、その査定金額を東工大基金にご寄附いただく取り組みです。

平成29年度の寄附金額は、76件、502,280円となりました。

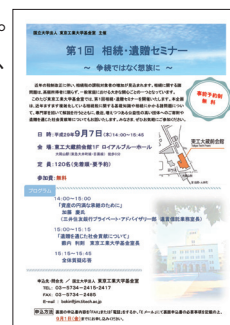
●カレンダーキャンペーン募金の実施

カレンダーキャンペーン募金は、主に新入生の保護者や卒業生を対象に寄附依頼を行い、キャンペーン期間中に一定額以上ご寄附いただいた方に、特典として名前入り東京工業大学オリジナル卓上カレンダーを進呈するものです。平成29年度は、57件のカレンダー申込みがあり、寄附金額は、3,772,000円でした。



●第1回相続・遺贈セミナーの開催

平成29年9月に、卒業生サービスの一環として、第1回相続・遺贈セミナーを開催しました。本企画は、近年ますます複雑化している相続税に関する基礎知識や相続にかかる諸問題について、専門家を招いて解説を行うとともに、最近増えつつある公益性の高い団体へのご寄附や遺贈を通じた社会貢献等についても講演しました。当日は50名を超える参加者があり、講演終了後には、大変活発な質疑応答が行われるなど、参加者の本セミナーに対する関心の高さが伺えました。また、本セミナー用に作成したリーフレットを“Legacy Gift”として発展させ、平成30年度以降の活動へと繋げております。



<新たな寄附メニュー>

●キャンパス環境整備基金の創設

平成30年3月に、世界に誇れる豊かで魅力的なキャンパス環境の整備充実を目的として、東京工業大学基金の中に「キャンパス環境整備基金」を創設しました。同基金への寄附金は、キャンパスの緑化や広場整備などキャンパスの環境整備に有効に活用いたします。また、同基金に100万円以上ご寄附いただいた方には、感謝の意を表し、寄附者様のご芳名や東工大への想いを込めたメッセージを記した「ご芳名記念プレート付ネーミングファニチャー」をキャンパスの広場等に設置いたします。



ファニチャーの設置イメージ



記念プレートのイメージ

ご寄附いただいた皆様に感謝の意を表し顕彰を行っております。

●「感謝の集い」へのご招待

学長主催の感謝の集いにご招待いたします。平成29年度は、平成29年11月1日(水)に開催し、約150名の方にご参加いただきました。

●芳名刻印レンガの設置

累積個人30万円以上、法人100万円以上のご寄附をいただいた方には、芳名刻印レンガを大学施設内に設置いたします。平成29年度は、新たに74名の方の芳名刻印レンガを設置しました。

●紺綬褒章の授与

個人500万円以上、法人1,000万円以上のご寄附をいただいた場合は、国からの紺綬褒章授与の対象となります。平成29年度は、2名の申請を行いました。



紺綬褒章

東工大基金へのご支援のお願い

皆様からの東工大基金へのさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

1. インターネットによるご寄附：

東工大寄附サイトのWeb申込フォームからお申込みください。(クレジットカード、インターネットバンキング、コンビニエンスストアのうちから、いずれかの方法を指定することができます。)

<https://www.titech.ac.jp/giving/index.html>

東工大基金 で 検索

2. 郵便局・銀行振込：

東工大基金室までご連絡ください。必要書類をお送りします。

東京工業大学基金室

TEL：03-5734-2415・2417

FAX：03-5734-2485

MAIL：bokin@jim.titech.ac.jp

URL：https://www.titech.ac.jp/giving/index.html

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology